



風産建発第 141 号
平成20年10月17日

国土交通省道路局長 殿

風間浦村長 横 浜



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

平成20年9月19日付、国道企第37号で依頼のありました標記の件

について、別紙のとおり回答します。

① 道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

青森県 風間浦村

○ 下北地域の中心都市むつ市までの距離は約 40km で国道 279 号によりバスで約 1 時間 30 分、自家用車で約 1 時間を要し、北海道函館市へは隣接の大間町からフェリーで約 1 時間 40 分を要するため、これら地域経済の中心都市から遠く、経済的な立地条件には恵まれていませんが、日常の社会生活は、モータリゼーションの進展により、むつ市、青森市及び函館市への依存が高く、地元では日常雑貨、食料品等の生活必需品に限られるという現状にあります。

国道 279 号は、本村の生活圏域となっている隣接市町村と深く連携し、日常生活に欠かせない唯一の路線であり、地域形成の基盤として多様な機能と性格を持ち、人々の生活に密接に関わっています。

また、多くの地方公共団体は、地域人口の減少に歯止めがかからず、少子化と若者の流出等に伴う高齢化が深刻な問題となり、産業構造の改善及び雇用の場の確保などが課題となっていますが、地域住民は生まれる場所を選択することができず、この地域で日常生活を営んでいるという実情を踏まえ、費用対効果のみを追求することなく、地域格差の生じない交通体系の確立を要望します。

さらに、道路特定財源が一般財源化されることによって、遅れている地方の道路整備が益々遅れ、地方における今後の計画的な道路整備の推進に重大な影響を及ぼすことが懸念されることから、地方の道路整備を強力に推進するための財源確保を要望します。

②-1 地域の現状と抱える課題

青森県 風間浦村

○ 現状

村道は 250 路線、総延長 87,463mのうち、改良済延長は 12,867m(15.0%)で、年次計画により整備を図っているが、改良率は極めて低く、幅員の狭小及び急勾配等の交通隘路区間が多く、冬期間における除排雪も困難な現状にあります。

交通手段は、国道279号を下北広域圏の中心となるむつ市までの約 40km 走行し、所要時間は 1 時間 30 分で下北交通(株)の民間バスにより運行されています。また、県都青森市までは国道279号と国道4号の約 130km を、むつ市経由で下北交通(株)の直通バス、またはJRによる鉄道を利用する方法がありますが、所要時間は 4 時間 30 分となります。

歩道、村道ともに集落沿線の国道279号の整備も遅れています。

○ 課題

村道の舗装率を高めるとともに、幅員の狭小及び急勾配等の交通隘路区間を解消するためにも、重点的、体系的な整備を図り、冬期間における除排雪を強化し、冬季交通の確保に努める必要がある。

また、日常生活が快適に暮らせるよう、路線の拡充と完全舗装化を早期に実現するとともに、植栽などの修景に配慮する必要がある。

さらに、本村易国間とむつ市薬研温泉を結ぶ薬研・易国間線を整備し、観光及び産業面で広く活用するとともに、災害時などの防災、避難道路としても利用する必要がある。

バス交通は、自動車の普及や人口の減少等により年々利用客が減少傾向にあり、利用客の動向把握、運行ダイヤの改善などにより住民の足として確保に努めるほか、冬期間の交通確保のための除排雪の徹底した国道の除排雪の徹底を働きかけるものとする。

なお、地形的な条件で制約されるが、幼児から高齢者まで安全に通行できる歩道を早急に整備する必要がある。

②ー2地域の目指すべき将来像

青森県 風間浦村

○ 本村の産業、経済、医療、福祉、防災等の生活全般を確保する基幹道路は、一般国道279号線が唯一の路線となっています。

代替輸送機関などの選択肢が無い本村は、平成15年5月1日に発生した国道279号への岩塊崩落事故の際には、通勤、通学、買物、救急等のあらゆる日常生活を支える地域形成の基盤が一瞬の間に崩壊したことから、「安全で安心な通行の確保」と「恒久対策」を望んでいます。

また、現在隣接する大間町において大間原子力発電所の建設が進められており、これに伴う工事車両や、建設資材等の搬入路として大きな役割を担っている国道279号を国直轄管理国道として昇格することを強く要望します

さらに、国道279号以外の代替輸送機関などのない本村の状況等を踏まえ、原子力防災も視野に入れた下北半島縦貫道路の大間地点までの延伸並びに同路線の整備促進が急務であると考えます。

加えて、国道以外で唯一他市町村へ通じる村道「薬研・易国間線」については、県道への昇格を検討し、広域的基幹道路としての整備を図る必要があると考えます。

③道路施策の重点事項

青森県 風間浦村

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・地域活力の向上 ・総合的な交通安全及び危機管理の強化 ・少子・高齢社会に対応した子育て環境、バリアフリー社会の形成	・ ・R279号の落石検知システム ・	○期待する効果や評価等 ・近年、情報・通信網の発達により、広く社会に情報発信を行うことが可能となり、住民生活の利便性の向上と地域間格差が是正され、行政サービスの充実が図れるのと同様に、社会基盤である道路も地域格差のない整備が期待できる。 ・道路監視システムの構築により、落石の事前検知・被災時の自動規制に効果があり、車両の進入を未然に防止することによって生命財産を守ることができる。 ・高齢者の「生きがい対策」、寝たきり対策の「ホームヘルプサービス事業、デイサービス事業等の在宅福祉サービスの充実」などの環境を支援するために段差のない歩道整備や除排雪による交通確保に効果が期待できる。	○その他